

平成17年度光市行政改革市民会議（第3回）【要旨】

開催日時 平成17年12月21日

10時～12時

開催場所 市役所3階第5会議室

【行政改革大綱（案）について】

- 「大綱の推進にあたって」の項目について以前は、行政改革の推進体制と計画の進行管理という2つの小見出しがあったが今回改訂された行政改革大綱（案）には1つにまとめであるが、小見出しがあった方が理解しやすい。
- 行政改革大綱実施計画(案)について、条例の改正等を行わなければ実施不可能な項目については実施時期が遅れる又は実行できないことがありえるのではないかと。
- 改革について議会がポイントになると思う。
- 議員さんは地域の代表で、光市全体のことを考えて発言しなければならないと思う。まず、議員さんの意識改革が重要である。それから住民の意識改革につながっていくと思う。
- 実施計画を実際に行っていく職員にやる気がなければいけない。市の職員は「できない」「やれない」「考えない」「動かない」挙句の果てに「金がない」と言う。市民にとって、はらわたがにえくりかえるような状態。税金も高くなる。市民の中には、「やってもらえない」ならば改革の状況を見ながら新聞に投稿しようとする動きもある。光市は独断でやるくらいのつもりで改革を行ってほしい。市の部課長には一般企業に比べ権限がないように思う。権限がなければ誰も動かない。市長以下一丸となって率先垂範で改革を行わなければならない。
- 市民と行政の間に大きなギャップがある。行政は“やっていること”を市民に説明する必要がある。その説明をする仕組みを作らなければならない。
- いろいろな公共施設を市民がどういうふうに活用していくかという視点を打ち出すことが必要である。サービスの一部を市民が担っていくことによってアイデアが出てくる。市民にチャンスを与えていくことが必要であると思う。
- 地域コミュニティの育成について支所、出張所、公民館を中心に市民参画をやっていくべき。出張所等は単なる出先機関で、連絡機関としての機能しか果たしていないので自治会の醸成が必要になってくる。地域ごとに問題はそれぞれ違っている。自治会ごとに意見をまとめてそれを吸収して行政で対策を講じていくことが本来の行政の姿であると思うので検討してほしい。
- 公民館を使う場合、公民館の規定等があり公民館を拠点にして何かやりたいと思うが使いにくいので柔軟に対応してほしい。柔軟性がでてくると自治会も公民館を中心に何かをやっていくことが可能になると思う。公民館のあり方は非常に大きいと思う。公民館のあり

方についての方向性が必要になる。この方向性は市民が考えることだと思う。

- 『外部委託の推進』の『道路維持業務の自治会等への委託』と『「公民館、留守家庭児童教室、その他教育・福祉関係施設の指定管理者制度等の活用』について、地域の自治レベルを高めていくことが必要であり、自治会が大きなウエイトを占めると思う。公民館についても地域の公民館運営委員会にすべて委嘱してしまうべきだと思う。この2点の年次計画について検討期間や準備期間が長すぎる。やれることからやっていかなければならない。道路維持管理の問題も自分たちでやろうという声が出ているので行政が仕掛けていけば早々に実行が可能である。準備期間が長すぎると思う。
- 地域にはリーダーができる人材がいるので、ぜひ自治会の醸成をお願いしたい。我々も自治会の連合会を作って意見を集約して市に対し意見提言を行いたい。
- 『各種申請・届出の電子化』について、インターネットができない人に不公平感がないように配慮し、効果の高いものをよく考慮して行う必要がある。
- 『行政評価システムの構築』について、実施計画に71項目あるが、すべてを平面的に一律に評価するのではなく、優先順位づけを行うことが大切である。優先順位づけを行う仕組みを作ってほしい。
- 影響額が15億6千万円であるとの説明があったが、金銭面だけでなく、サービスの向上・期間の短縮についても別の評価の仕方も必要だと思うので検討してほしい。
- 実施時期について、『可燃ごみ収集業務の委託』、『道路維持業務の自治会等への委託（外部委託の推進）』・『学校給食センターの再編（公共施設の適正配置と再編）』で、準備期間が3年とあるが、内部的な問題や雇用の問題等があり困難であると認識している。
- 図書館の利用で、学生等の年代別の利用率はどうなっているのか。大人でない人が利用できる雰囲気づくりを行うことが必要だと思う。利用実態がよくわからない。
- 物騒な事件が子供たちに襲い掛かっているという現状を踏まえ、ボランティアリーダーを育てるということに補助金を出すことは困難なのか。光市でも、見回り等のボランティアに対する資金があると良いと思う。
- 『指定管理者制度』について、安易に経費削減のみを目的として指定すると、月日の経過と共に住民が本当に使い勝手の良い管理ができなくなるのではないかと。指定管理者にとって利益のあがる業務ではないので管理が雑になるのではないかと。民間の業者の採用に当たっては配慮してほしい。
- コミュニティについて休館日が多いので使い勝手が悪い。運用面で休館日も使用できるよう工夫してほしい。
- 『道路維持業務の自治会等への委託』について、自治会の高齢化が進んでいる。今は良いが、5年後、10年後はどうするのか。長期的に考えて改革を行っていかねばならない。
- 合併してサービスの低下が起こっているのではないかと。高齢者からの声が多い。支所の見直しが必要だと思う。車の運転ができない人に対する配慮を検討してほしい。

- 『給与の見直し』について、目標管理制度や成果主義等の制度を考えていると思うが、成果がでる人のみ給与に反映するのではなく、それをサポートする人にも配慮が必要ではないか。慎重な取り組みが必要。
- 成果主義、能力主義のみでは職員がばらばらになってしまう。年功序列制度の欠陥を補いつつ慎重に対処すべき。お金で職員のモチベーションを変えることはできない。
- 今から良くしていく改革は現状が理解できるので取り組み易いが、現状をそのままにしておくと悪くなるものに対しての改革が難しい、これを上手く浸透させていくことが必要。
- 『ホームページの充実』について、光市の顔であるので内容の充実をお願いしたい。気象情報（台風等）についても、タイムリーな情報を提供してほしい。
- 情報機器（パソコン）の操作で間違えたときに警報を発するのみではなく、操作が不可能になる仕組みを考える必要がある。
- 他市との情報交換は行っているのか。情報の収集は大切だと思う。
- 『出前講座』について、集会で積極的に利用している。利用することにより人間関係ができ、市の職員を知ることができる。出前講座は良い試みだったと思う。